

ストーリー

ある日、突然地球に現れた侵略者
「ワルインマー」

人を墮落させ動物や植物は嘆く。

数多の嘆きが地球の核に集まり…
地球を守るための聖なる防衛システム
「星の心」が生まれる。

守護戦士を生むため、星の心は思考する。
「問い、ヒトのもっとも強い情動は何か？」
「答え、それは暴走するほどのオスの性欲である。」

「問い、性欲を制御するには」
「答え、性欲を正義の力へ換える監視機構だ」

「問い、戦士はそのままの肉体で戦えるか」
「答え、否、保護と隠蔽と強化を要する。」

星の心はプログラムのように
それらをパッキングし、

監視機構として「守護妖精」を
戦士の強化として「魔法少女の加護」を具現化する。

そして純粋なキミに狙いを定め
「魔法少女ポイントカワール ホワイト」とした。

これは…正義の魔法少女が
悪に堕ちる物語。



魔法少女

ポトカワル

POM TO KAWA-RU

キミが始まりの魔法少女になって
快樂と悪に屈して洗脳される
まんが ホワイト編



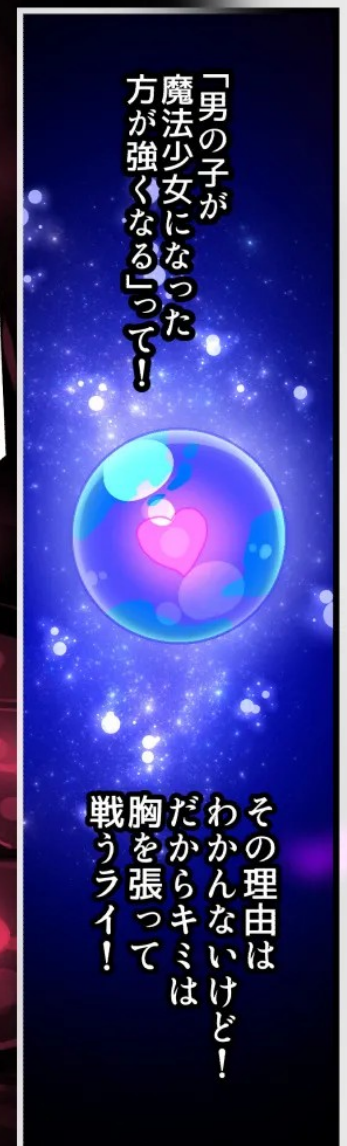
魔法少女

ポムカール

POM TO KAWA-RU

キミが始まりの魔法少女になって
快楽と悪に屈して洗脳される
まんが ホワイト編





—そうか心か。
順序が逆だったのだ。

奴らの力の源
星の心とやらを
先に支配するのだ。

「心」などと
言っているが
おそらくそれは
人という所の
免疫システムの
ようなもの。

であれば
ウイルスのように
システム自体を
乗っ取ればよい。

ギョロ

ターゲット
「星の心」
データ収集
解析開始

改変
必要時間
地球時間
一ヶ月

さあて
完了まで
永続オナニーと
洒落込もうか。

アノ



なっ…なんだよ
この格好ッ!
いつもの変身じゃ
ない…?

おい、アライ!
なんか間違っ
てんじや
ないのか!
こんなのじゃ…!

んんん♡

アリン♡

キキキ♡

いいや、何も
間違っていない。
それがキミの
新しい姿よ。

お前は…!







チクッ

あーっ!!

ムクムクムク

おな...に?

オスの
性行為のこと♡

さあまずは一
度もオナニーを
していない...
いや、できなかった
可愛そうなチンポに
射精でさよならだ。



あ

だから星の心は
男のキミを
魔法少女にした。

ヒトの中で
最も強い感情は
オスの生殖本能...
性欲だ。

性欲を正義に
変換する枷を
妖精という形で
添えてね。

わんわん

可愛そうに。

ニチャ

くっ

ぢゅるるる...

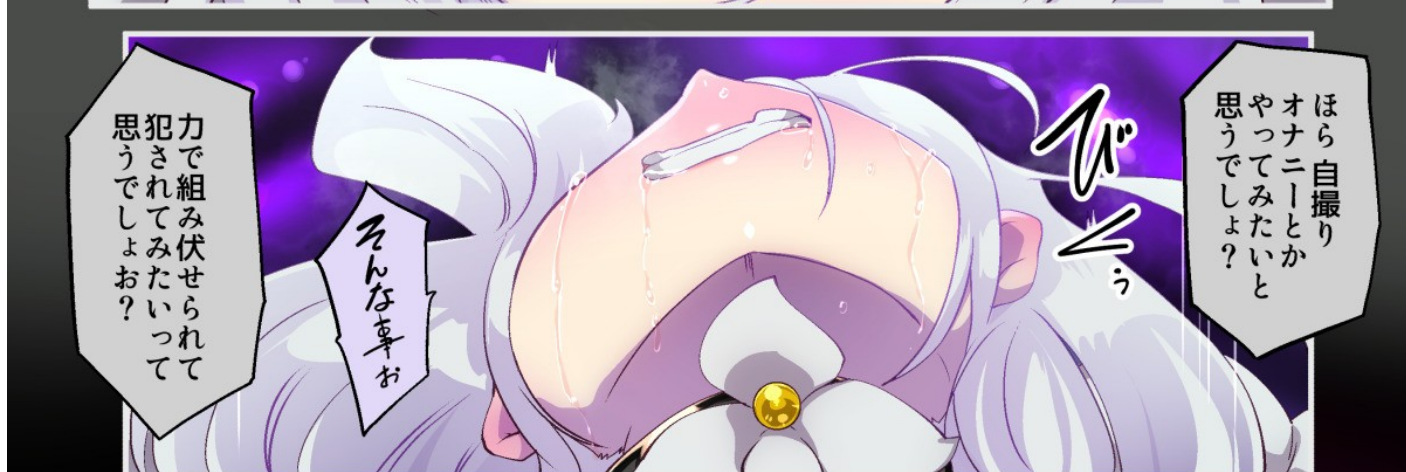
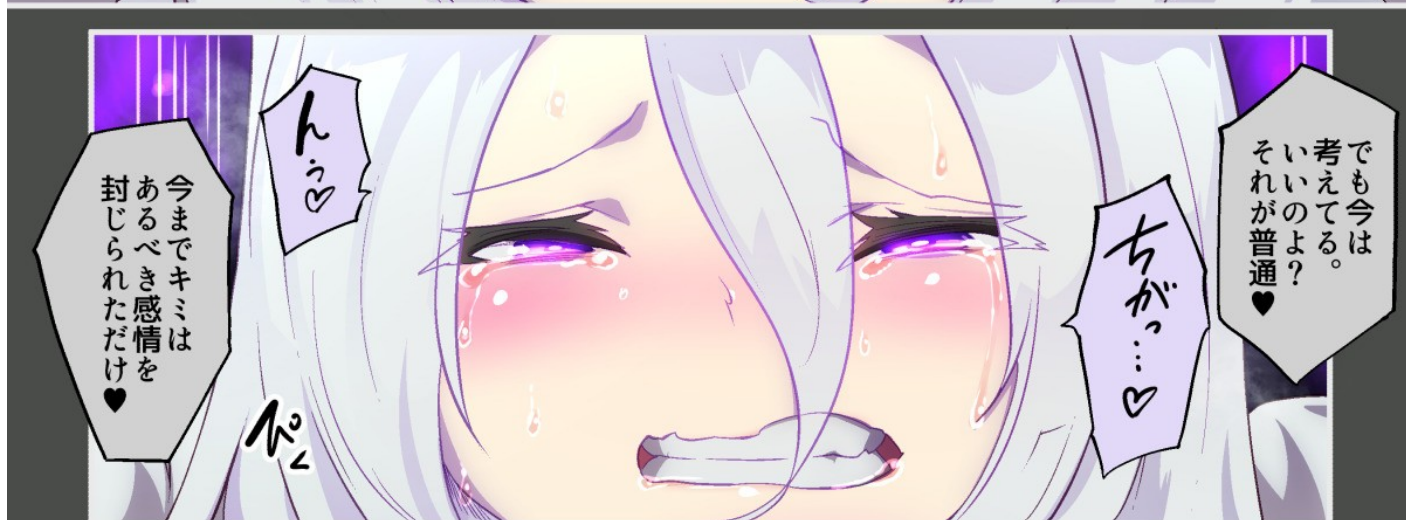
んあ

う...

だが枷は
外れた...♥
楽しみなさい？

つぱ
つぱ





キミ、元々
なかなかの
正義感が
あったのね。

：楽し♥考えが
変わっちゃった♥

ドキ♥

キミは徹底的に
私好みに作り変えて
玩具にしてあげる。

ガイ。

や、やめて
何を……

アッ……



一穴同時♡

何を？

ズ
ズ

クワッ

ズ



あ...

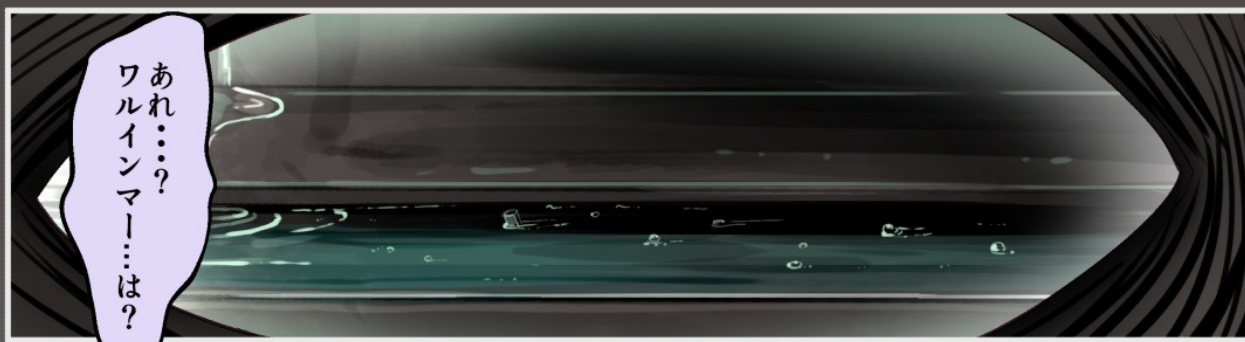
あーあ
挿れただけで
気絶しちゃった...♡

さすがに
アタシのものを
受け入れるには
準備が
足りなかったかあ



...ま、いいか
じっくりと墮とす
楽しみが出来たって
ことで...ね。





なっ…
なにこれっ…
ヘンな気持ちにっ

ずっと
「おなにー」…
してるみたいな
快感がっ…!!

んっ…

んっ…

取らなきゃ…
こんなの
ついてたら
ヘンになる!

モッ
モッ

あああ!!
ああ

アッシャー!!

んっ!!?



やだ…
止めて…
とめてええ!!

気持ちいいの
とめてええ♥

ピビビ

ピビビ

フワ

そして、その日から
キミの日常は性欲に支配された
ものになる……♥



まだ、加護が
残ってる…から
周りからは
変な風には
見えてない…

胸もどんだん
大きくなるし
ムレてヌルヌルで
うう…乳首が
スレて…

でも…あれから
変身も戻らず
ずっと発情
しっぱなし…

フワ

ムワ

あ♡

ん♡

このままじゃ
ボク――

けっ♡

はっ♡

今日…もうっ
14回目…なのに

どんどん
我慢できる
間隔が短く
なってる…

ぐちゃ

ぐちゃ

ドキッ

加護も…
弱くなつて
来てる！

なあ、なんか
エロい声
きこえねえ？

聞こえないぞ？
それより何か
スケベな
匂いしねえ？



ダメ…
イクの止めないと…
とめないとッ!

とまらないっ



アクメして…
気を失ってたから
助かった…♥

でも…
もう無理…
こんな体じゃ…
明日はきつと—



やあ
久しぶり
ホワイトノワール。

ぼくはポコ太。
生まれ変わった
「アライ」ポコ。
キミを迎えに
きたポコ！

もう我慢も
限界だろう？

さあ
ヌルテカ様の
元で心身ともに
快楽の下僕に
してもらおう！

あ…

ああ♡

ダメ…ボクは…
わたしは…
正義の…

ジグ…

///

お願いします
ボクを…
私を…快楽に
沈めて下さい。

フフ、やっと
加護も尽きた？

屈しちゃった…♡

クッ。

じゃあ…
仕上げをしに
行こうか♡



これからお前は
人々を欺くための
ニセの希望へと
生まれかわるの。

人々はお前を頼り
崇め、祈りを
捧げ…真綿のよう
に苦しみ滅んでいく。

お前が我らの
手駒に堕ちた
とも知らず…ね



そのためには
お前を
聖女のような
美しく完璧な心身へ
変えていかねばな。

ん!?

ガボ



クク、
長く侵略と滅亡を
楽しめそうな
シナリオだろう。



対象の強制成長を
開始...乳首の感度を
上昇...

あははは
大人の肉体は
気が狂う程
気持ちいいでしょう
これからキミは
ずうっと
その快感に弄ばれて
生きるのよ!

成長痛のきしみの裏で
肉体が成熟していく事により
快感が倍増していく♡

キミの神経回路は
ぱちぱちとはじけ、
言葉を紡ぐことも
難しくなっていく♡

狂狂狂
いそうっ
ないそうっ
のいうっ
にいい！

フム、
加護の残滓が
お前の正義感に
食い込み、最期の
悪あがきしてるな。

イケない……か。

ズズズ

ならば...その
人格もろとも
修正してやる。

対象の人格を
排出する
プロセスを開始
します。

あゝ
あゝ
あゝ

グ
グ
グ

なあに
怖がる事は
ないぞ。



ちうー

ほおら無限の
寸止め快楽で
ドロドロに
なってしまうえ！

らめえ…
もう…意識が…
とけるううう！

股間が
熱いつつ…

触手の中で
クリトリスが
パンパンになって
何かがっ♡

あたしの
なみゅっ
トのけて
出ちゃう♡

ビーン!!

あ♡

対象の意識低下
人格排出準備
完了。

ゴッ♡



まっぴに

なーんやううううう♡♡

XV/V



元人格をベースに
新たな人格を
作成中...

淫猥、ビッチ
清楚系ヤリマンの
データを注入
マゾヒズムを倍化

倫理観をカット、
我欲を増幅
性欲を通常の
二十倍に

ワルインマアの方針に
絶対服従の心理的
枷をセット

コスチューム改変

異形化した
クリトリスを
性交時以外は
格納。

完成——



ところでここに
お前の前の
人格データが
あるのだけど...?



生まれ変わり
おめでとう。
ホワイトノワール。



捨てないで
ヌルテール様♥

私、すごく
良いこと
思いつい
ちやった...♥

もつとながーく
楽しく侵略
する方法♥



ほうう...?



あのね...



ゴホッ

クク自分の
クローンに
元人格を入れ
己を洗脳した
装置を改造して
妖精の苗床に
するとは。

キュー



これでね、世界中に
堕ちた魔法少女を
増やして楽しむの。

魔法少女を堕とす
楽しみも…
人の絶望もながーく
楽しめるよお。

自分を見ながら
オナニーも
できるし♡

お前も
堕ちる所まで
堕ちたな♡

ね、すごい？
すごいって
思ったら
ヌルテカ様…

うむ。褒美だ♡

おほおほ
おお♡♡

ズグ

ビク

ビク

一ヶ月後、
淫獣と化した妖精により
新たな魔法少女が生まれ
洗脳触手「ポントテイル」により
悪へ堕ちる事になる。

そして始まりの
魔法少女は今日も
偽りの希望として――

悪に乱れ、踊る…

END♡

よいこのふろく



星の心

地球に住むあらゆる生命の嘆きが生んだ
侵略者に対抗するための「何か」

「星の心」という名からは感情をもった
生命がるように感じられるが
その実は防衛プログラムに似たAIのようなもの。

それゆえ、ワルインマーによって
改変・支配下に置かれてしまった。

アライグマ型妖精 「アーライ」

星の心が魔法少女のお供に生み出した妖精。
ただ、彼もまたAIのような存在。
彼自身は知らないが魔法少女にした男子の発情を抑制する
機能をもっている。

星の心がワルインマーに支配されてしまったため
アライグマに似たタヌキ型の陰獣へと変えられてしまった。



アライグマ



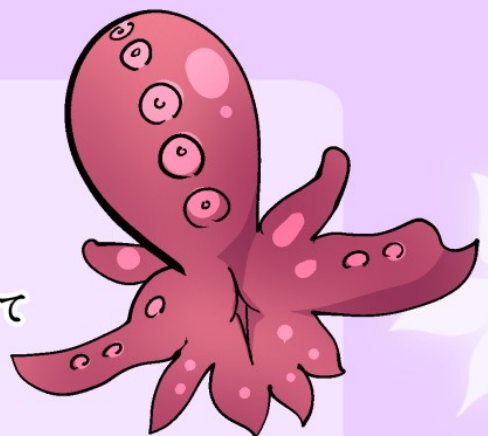
タヌキ

ワルイクリトパス

ヌルテーカの触手。
相手の内蔵に寄生し置き換わる。
性器やアナルを蛸の触手のようなもので覆って
特にクリトリスに激しく吸い付き
常に快感を与えて、寄生したものを狂わせる。

またヌルテーカ自身は
ワルインマーの科学技術と触手を連動させて
相手を洗脳、人格を排出させるなどの特殊能力を持っている。

なお、性器そのものではない。
これはカラーだと性器の修正がキツめで、画面がモザイクだらけに
なってしまいうことに頭を抱えた絵描きの苦肉の作とも。
性器隠蔽の大人の玩具みたいなもの。



おとがき

お手にとって
くれて
ありがとう
ございます。

ポイントカワールシリーズ
2作目になります。
1作目がわりと好評
だったのと、
ホワイトさんがもって
堕ちる様をみたいという
ご意見があったので
描いてみました！

一人で話を作り
エロというジャンルだと
マンネリになると
いけないので
今回はレビュー企画に
参加してくれた方に
ご意見を
頂きました。

もう少し
魔法少女的に
パフスリーブ
とかあると

人格
排泄が
みたい。

堕ちた後の
アフターも
できたら。

また、スマホネイティブ世代の
マニャーミから

姉さんの漫画は
文字がおおい……
ストーリーとか
頭にまとめたら
どうかな

と、指摘をもらって、
できる範囲で文字を
減らしました。
それでもまだ多いかも(汗)

また
英訳はCieさん
中国語は猫先生
フランス語はMaddieさんに
翻訳を頂きました



いつもいつも
本当にありがとう！

同人復帰後
今年で四年目となりました

今年もできる範囲で
頑張っていきますので
応援宜しくお願いします。
また「私の国のポイントカワールを！」みたいな
意見や要望があれば、ぜひ応援レビューと共に
お寄せ下さいませ！
人気でたら...また続編を考えてみますから！



制作 Yaseuma-Loru
絵：ネツキノヨト 定食

=感謝=

英訳 :Cielさん

中国語訳 :猫頭猫頭猫先生

仏語訳：Maddieさん

試読:bebusterさん

でんねこさん

まにゃみさん

and you

この作品を無断で
インターネット等に
アップロードする事を
禁じます。

